

(別紙) 「 JR武田尾駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

・意見の募集期間 令和6年(2024年)2月1日(木)～3月1日(金)  
 ・提出意見件数 6 件

※ ご意見ありがとうございます。

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1	計画全般に関すること			パブリックコメントを募集していることを周知させる工夫が必要だと思えます。 武田尾駅バリアフリーに関するパブリックコメントを募集していることを知りませんでした。 2月26日の西谷公共交通会議に初めて参加した際に知りました。	【貴重なご意見ありがとうございました】 パブリックコメントの実施については広報たからづかへの掲載、ホームページでの周知、市役所及び市内各サービスステーション、サービスセンターにおいて資料配布等を行っていますが、ご意見を参考に、今後は他の周知の方法についても検討します。	—
2	駅構内			・安全と防犯を第一に考える必要があると思えます。 駅が改善されることは喜ばしいことですが、 1 武田尾駅は無人駅であること 2 夜間利用者が少なく人気がないこと 3 山の中にあり、西谷中心部からも距離があること 以上の点から、エレベーターの停止や事故、トイレでの犯罪などが起こった場合、どう対処できるのかを考える必要があると思えます。	【原案のとおりといたします】 今回の基本構想は、バリアフリーに関する構想であるため、原案のままとします。 安全と防犯への対策として、駅構内及び駅周辺に合計5つの防犯カメラを設置し、防犯面の配慮は行っています。いただいたご意見は今後の取り組みの参考といたします。	—
3	エレベーター			・エレベーターが設置されても、ほとんどの人は階段を使うことになるので階段が安全に配慮されたものになるよう望みます。雨や湿気で階段が濡れている時はエレベーターを利用しない人は滑らないよう気をを使うと思えます。	【原案のとおりといたします】 JR武田尾駅の階段は、両側手すり及び滑り止めが設置されており、バリアフリー法に基づく「移動等円滑化基準」及び福祉のまちづくり条例に基づく「特定施設整備基準」を満たしているため、現時点で改修等を行う予定はありません。 なお、滑り止め等の経年劣化による安全上の支障等がないよう、施設管理者であるJR西日本株式会社に対して適切な維持・管理を行うようお伝えします。	—
4	駅前ロータリー			・駅前ロータリー 西谷住民の多くが駅まで車で家族を送迎しています。駅の改修工事後、車がスムーズに移動できるスペースが保たれるようお願いしたいです。	【原案のとおりといたします】 バスロータリーにつきましては、現状の歩道幅員が約1.2mと狭く、「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」を満たしていないことから、歩道部分を拡幅し最低2.0mの幅員を確保するよう検討しています。 なお現場については崖や河川が近接しているという地形上の制約から、ロータリーを含む道路部分の拡幅は困難です。歩道拡幅に伴ってロータリー部分は現在より狭くなる予定ですが、送迎する家用車の転回については支障がないよう検討します。	—
5	公共交通			・武田尾駅へのアクセス 駅がバリアフリーであっても、廃線跡や西谷を訪れるハイカーに恩恵があるのかなと感じてしまいます。 住民が利用できる公共交通は阪急バスですが、便数が少なく料金が高いので通勤通学に利用できないことがほとんどです。 武田尾駅を利用する西谷居住者のための交通手段は永遠の課題のままなんではないでしょうか？	【原案のとおりといたします】 今回の基本構想は、バリアフリーに関する構想であるため、原案のままとします。 本基本構想はハイカーを含め、駅を利用される方を対象としており、すべての方の利便性に資する計画と考えています。 なお、公共交通に関しては、令和5年4月に策定した宝塚市公共交通計画において、北部地域のあり方について定めています。今後、地域・事業者と連携しながら、引き続き検討していきます。 1 / 2 ページ	—

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
6	トイレ	27	1	<p>武田尾駅内のトイレは、男子用と女性用とが分かれていません。これは、文化的生活が出来ない状態です。新しい路線が開通された当時は、武田尾駅が残されることが大切でありました。男女共用のトイレが、問題にのぼる事の無い時代でした。</p> <p>今回の改修において、多目的トイレが、作られると思います。2つの多目的トイレ作って頂けたら、多くの来訪者が、問題なくトイレの使用ができると思います。</p>	<p>【原案のとおりといたします】</p> <p>駅構内のスペースの関係上、男女別の多目的トイレを設置することが困難であることから、現在の概略設計においてはバリアフリー機能を有した男女共用の多機能トイレの設置を検討しています。</p>	—